

午後II試験

問1

問1では、社内システムの更改を題材に、STP、RSTP及びスタック機能を用いたときの方式の違いと、現行の社内システムから新社内システムへの移行について出題した。全体として、正答率は低かった。

設問2は、(1)、(2)ともに正答率がやや低かった。STPの用語はRSTPでも用いられるので、是非知っておいてほしい。サブネットについて、STPとVRRPの構成を正しく把握し、設計上の問題点を発見することは、ネットワークを設計する上で非常に重要である。

設問3(2)は、正答率が低かった。トポロジーの再構成に掛かる時間を短縮できる理由を問う問題であり、本文中に示されたRSTPで追加されたポートの役割、STPとRSTPの状態遷移の違いを読み取り、もう一步踏み込んで考えてほしい。

設問6(1)~(5)は、正答率がやや低かった。移行設計では、現行の社内システムと新社内システムの構成を正しく把握し、移行期間中の構成、経路情報、作業手順などを理解することが重要である。本文中に示された条件を読み取り、正答を導き出してほしい。

問2

問2では、インターネット接続環境の更改を題材に、SNMPを用いたネットワーク利用状況の把握及びping監視と機械学習を用いた監視について出題した。さらに、BGPやOSPFを用いたネットワーク設計と、プロトコルの特徴を踏まえた導入手順について出題した。全体として、正答率は高かった。

設問2は、BGPを中心とした経路制御の問題であるが、(2)の正答率が低かった。本文中の説明を注意深く読み取り、経路制御の流れを順序立てて組み立て、正答を導き出してほしい。(4)キは、正答率が低かった。キーブアライブなど、BGPに関する基本的な用語については、是非知っておいてほしい。

設問3は、(3)、(4)の正答率がやや低かった。(3)は異なるプロトコルを組み合わせる際に、これらの信頼性に基づいて優先順位を決める経路制御の基本である。また、(4)はネットワーク構成を変更する際に、利用者に対する影響を最小限にするための通信迂回操作の一つである。それぞれよく理解してほしい。

設問4(1)は、正答率がやや低かった。専用線の輻輳を検知するためにICMPによる死活監視を用いた際の問題について問うたが、技術的な観点ではなく、ルータ10Zとルータ11ZがZ社の所有であることに着目した解答が目立った。ネットワークスペシャリストとしてICMPの特徴をよく理解し、もう一步踏み込んで考えてほしい。